

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年11月11日（金）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアF1

3 確認項目

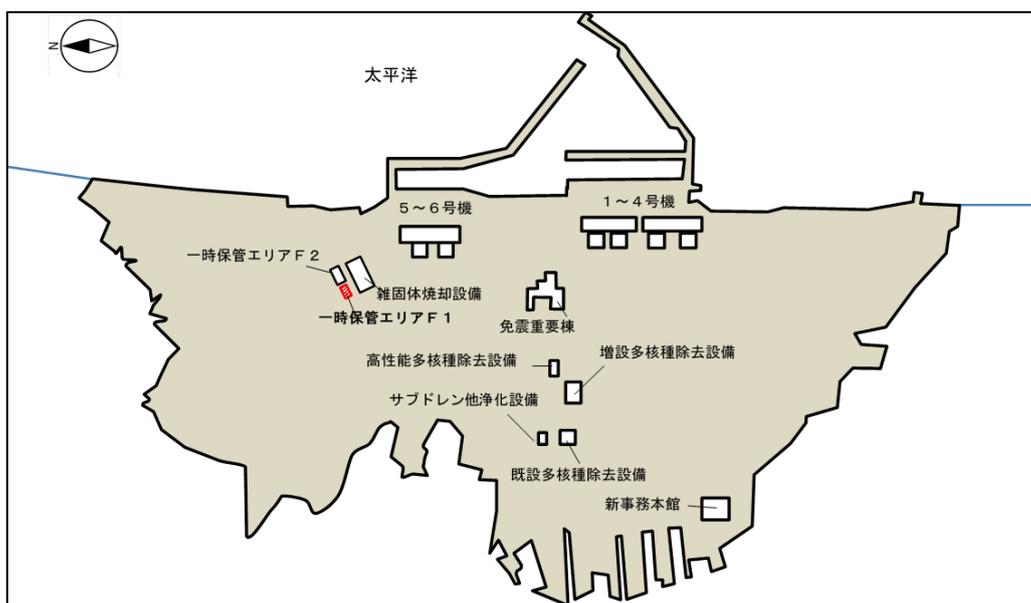
瓦礫類一時保管エリアF1の状況

4 確認結果の概要

廃棄物管理の適正化の一環として、屋外で高線量の瓦礫類を一時保管している瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）の解消が進められており、今回は前回（11月7日）に続き、これまで高線量の瓦礫類（受入目安表面線量率：10mSv/h）を保管していた一時保管エリアF1の状況を確認した。

なお、東京電力では、10月20日付の実施計画変更申請において、一時保管エリアF1の受入目安表面線量率を10mSv/hから0.1mSv/hに変更するとしている。（図1）

- ・入口には単管パイプのバリケードが設置されており、エリアの標示等が掲示されていた。（写真1）
- ・エリア内の一部には鉄板が敷かれており、搬入された6 m³コンテナは鉄板上に置かれていた。また、一時保管エリアF1とF2の境界には単管パイプと樹脂製のロープによるバリケードが設置されていた。（写真2）
- ・エリア内の西側の一部が単管パイプのバリケードで区画され、区画の中央部には布が掛けられていた。バリケードには、「高線量注意」、「関係者以外立入禁止」の掲示がされていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
一時保管エリアF (F1、F2) 入口の状況
(北東側から撮影)
画面手前側はエリアF2、中央の通路を抜けた奥がF1となっている



(写真2-1)
一時保管エリアF1の状況③
(北側から撮影)



(写真2-2)
一時保管エリアF1の状況①
(前回(11月7日)南東側から撮影)



(写真2-3)
一時保管エリアF1の状況②
(今回(11月11日)南東側から撮影)
画面手前がエリアF2、



(写真3)
地表面の放射線量率が高いエリア

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。